

ぼくの、わたしの一本下駄♡作ってくれてありがとう！



昨年から4歳児のお兄さん、お姉さんが一本下駄で遊んでいた様子を見ていたようで、園用の一本下駄を見つけた子ども達は、さっそく挑戦し始めました！すると「私もやりたい」「ぼくもやりたい」と5組しかない園用の一本下駄が引っ張りだこに…そこで、数名の子ども達が自分の一本下駄が欲しいという要望を職員室に伝えに来てくれました。

緊急事態宣言が解除されるかどうかもわからない中、参観日を予定するわけにもいかず、検討を重ねた結果、今年は地域の方や幼児学園関係者の方で一本下駄作成にご協力いただける方を探そうということになりました。子ども達が自分から一本下駄が欲しいと思った時にそれぞれのタイミングで作ってもらえるように3日間の一本下駄屋さんが開店しました。初めて出会う人とかがわかるのに時間がかかると思っていた子が自分から地域のおじさんに話しかけたり、釘打ちがしたいと自分のやってみたいことを言葉で伝えようとする子ども達の姿を見て、園の環境だけでは出来ない経験をさせていただいていると感じました。また、釘を打っている子ども達に「よし、もうちょっとや！」と励ましの声をかけていただいたり、優しく手を添えてお手伝いをしてくださったり、地域の方の温かさに触れる機会となりました。無理なお願いにもかかわらず、快くお引き受けいただいた地域の皆様、関係者の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

R3年6月23日

園長



世界に一つしかない私の一本下駄！何の絵を描こうかな？

友達や先生と手をつないで1・2・1・2☆

